

令和6年第8回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和6年8月20日（火曜日） 午後1時40分から3時50分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・芳澤佐織・馬場優子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 滝沢淳・教育部参事 長嶋伸一・教育総務課長 中條智則・学校教育課長 下ノ坊圭・学校教育課副参事 澤田秀一・生涯学習課長 吉野修・生涯学習課副参事 松本尚也
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	1人
会議資料の名称	会議次第、教育長報告、議案第22号

議題及び決定事項等

議案第22号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について
【原案どおり可決】

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

- 教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。
- その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

（委員）高麗小学校と中学校について、義務教育学校の開設のための改修工事に伴い、夏季休業期間を7日間多くしているが、授業時数の確保はできるのか。

（教育部参事）現時点では確保できる見込みと聞いている。

（委員）新型コロナウイルス感染症について、現在は流行期から減少傾向にある。感染後に味覚や嗅覚障害、倦怠感を訴える人は一定数いる。子どもたちは軽症な場合が多い。

（委員）モジュール授業とはどういった内容か。

（教育部副参事）例えば45分間の授業を15分ごと3つに区切り、さまざまな教科を組み合わせて集中力を持続させ、効率よく授業を行うものである。

- (委員) 教員の資質が問われる手法だと思う。
- (委員) 高麗川南公民館の老後の安心講座とはどういった内容か。
- (生涯学習課長) 行政書士を講師に招いて、相続や遺言などについての説明をする講座である。
- (委員) 武蔵台公民館のスマホの基本とキャッシュレス体験とはどういった内容か。
- (生涯学習課長) 通信回線事業者のスマートフォンアドバイザーを講師に招いて、スマートフォンの基本操作やキャッシュレス決済の仕組みのなどの説明をする講座である。
- (委員) 海外留学擬似体験事業について、参加状況はいかがであったか。
- (学校教育課副参事) 今年度の参加率は80%であった。
- (委員) 海外留学擬似体験事業ではオンラインで現地の人と会話をしているが、体験事業だけではなく、学校の授業で取り入れてもよいと思う。
- (学校教育課副参事) 現在、授業で導入できるかどうか研究をしている。また、武蔵台小中学校では、以前から海外の学校と動画のやり取りを行っている。
- (委員) 以前視察した高校では、英語しか使っていない時間を設けていた。また、別の学校では、授業を英語で行う日があった。日頃から英語を耳に入れるようにすることは大切なことである。子どもは夢中になれば伸びていく。
- (委員) 長瀬町議会が小中一貫教育に関する視察に来ているが、長瀬町でも小中一貫教育を進めているのか。
- (教育長) 以前、長瀬町の教育長も武蔵台小中学に視察に見え、検討をしているようである。様々な自治体などが視察にきている。
- (委員) 子ども議会はどういった質問があったのか。
- (教育長) 12人の子ども議員から質問があり、2人が教育委員会に関わる質問であった。通学ボランティア増員の質問などであった。
- (委員) いじめ問題専門委員会の会議があったが、どういった議題があったか。
- (学校教育課長) いじめの認知件数の増加、法律にあるいじめの定義、アンケート結果に基づいて研究を進めることなどを報告した。
- (教育長) いじめの定義が広がっているのも認知件数の増加要因のひとつである。大切なことは重大事案を見落とさないことである。
- (委員) 義務教育学校高麗小中学校について、教育委員で学校の視察を行いたい。
- (教育長) 今後、日程の調整を行いたい。
- (委員) 図書館で実施されたビブリオバトルで、若い人が古典(古典的名作)を紹介していたということだが、動画投稿サイトにて本の紹介をする動画があり、その動画がきっかけで、再販された図書もあると聞く。読書のきっかけとして、そういったものを利用するのもよいかもかもしれない。
- (委員) 高麗小だよりで見たが、今年度は夏休みの一研究の地域発表を行わないとあった。楽しみにしていただけに残念である。また、美術展も無くなってしまった。働き方改革も理解できるが残念である。
- (教育長) コミュニティ・スクールを推進していくうえで大切な部分でもある。確認して、今後どのようにしていくか全体として方向性を考える必要がある。
- (委員) 地域の人たちが、子どもたちの個性を把握することも大切である。何故無く

すのかという理由が大切である。いいものは残し、変えるべきものは変えていくことが大切である。

(委員) ひ・まわり探検隊の体験講座に参加した人から聞いたが、服装について特に指定がなかったにもかかわらず、当日指導者に服装について強い口調で注意され、不快な思いをしたとのことである。指導者と事務局でよく調整して募集をした方がよい。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第22号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について

(委員) 不登校児童生徒数が増加傾向にあるがどう対応しているのか。

(学校教育課副参事) 昨年度、高萩中学校に校内教育支援センターを開設し、不登校やクラスに入れない子どもの相談、支援を行っている。そこに通う生徒が学校に戻るケースもあり、一定の成果は出ている。

(委員) 今後高萩中学校以外にも広げていく計画はあるのか。

(学校教育課副参事) 拡大していきたいとは考えている。

(委員) 子どもの支援は切れ目がないようにすることが大切である。他校に設置するのは、よいことである。

(委員) 最近2回程学校給食を食べる機会があったが、油分が多いように感じた。近年物価高となり食材も値上がりしている。来年度からは給食費の無料化が始まると思うが、給食の質は担保されるようにしてもらいたい。

(委員) 学識経験者からは一定の評価が得られている。教育のデジタル化が進む中で、AIの活用などについて危惧され、検証や議論が必要と指摘がある。そういった事も念頭に入れ進めてもらいたい。また、リカレント教育やウェルビーイングについての期待も述べられている。

(委員) コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育について、新しい教科「ふるさと科」の準備を進めているが、教員には浸透しているか。

(学校教育課長) 各学校の教員で組織する、小中一貫推進委員会において、検討を進めている。今後、教科の内容を資料にまとめて提示したい。

(委員) 教員免許更新制が廃止されたが、影響はいかがか。

(学校教育課長) 教員の採用が行いやすくなった。

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○9月定例会：9月19日（木曜日）午後1時40分から 委員了承

○9月定例会：10月24日（木曜日）午後1時40分から 委員了承